

成長する、未来へむけて

F U T U R E

いろんなミタイをカタチにする 「総合視覚化企業」

社内公募によって決定したブランドビジョン。

お客様や従業員、その他すべてのステークホルダーに向けて、タニスタがどのような企業として社会貢献を果たしていくのかを示す指針であり、約束です。

私たちは高度なデジタル技術と専門知識を駆使し、様々なイメージや情報を可視化することを得意としています。

「誰かに伝えたい」という想いをあらゆる映像表現手法を用いることでカタチにする「総合視覚化企業」としてブランドを確立していきます。

映像制作のステージを自由に拡張することで新しい価値を生み出し、人々の「安心・安全」「知識」「情報の認知と伝達」に貢献する企業としてチャレンジを続けていきます。

「説明動画」出展風景
インテックス大阪（2020）



赤外線センサーを利用したコンテンツ
メイカースバザール
(2018)



「津波避難カルテ」
プロジェクト
× 京都大学防災研様
(2016～)



ドームスクリーン
映像体験サービス
パナソニックセンター
(2019)



「防災出前授業」
コンテンツ
× 東北大学様
(2020)



「ライド型防災 VR」
コンテンツ
× 地方消防局様
(2021)



人材育成

H U M A N R E S O U R C E

一人ひとりの強みを引き出し、結合し、イノベーションに繋げる

会社にとって、最も大切な経営資源は人です。すべての社員が日々最大のパフォーマンスを発揮し、継続的に成長を実感できる職場を目指して、数々のフォローアップや人材育成制度を設けています。

1. 健康経営への取り組み

仕事でパフォーマンスを発揮するには体と心の健康が整った状態が必要です。健康維持が、独創的なアイデアや品質の向上につながることが多くみられます。タニスタでは2018年「健康経営宣言事業所」として登録し、年間を通して健康セミナー、食生活指導、健康指導などを開催し社員の健康維持に取り組んでいます。

2. フラットなチームづくり

若手の柔軟な発想、熟練者の経験や知識、互いを認め尊重するという前提があるからこそ皆が安心して発言し、「多様な意見やアイデアの結合」によって新たなモノやサービスが生まれます。仕事に関わるメンバー全員が自信と責任をもって自由に発言できる環境は日々の取り組みから作り上げているのです。

コンパクトミーティング、全体ランチ（月1）、レクリエーション（年2回）、社内報発行など

3. 安心して働き続けられる環境づくり

ワークライフバランスを重視する「働き方改革」への取り組みは2016年から始まり、すでに2018年には整備を完了しました。長時間労働の禁止、勤怠管理などペーパーワークのIT化、一斉営業一斉休業による確実な休日取得と効率化、フレックス制度、テレワーク制度、半休制度といった、社員一人ひとりのライフスタイルを最大限に尊重する一方で、各自が集中力を高め、会社全体で仕事の品質と生産性を向上させています。新入社員の一人暮らしをサポートする社宅制度や会社を支えるベテラン社員への永年勤続賞なども安心して働ける環境づくりの一環です。

4. 人を育てる、伸ばす取り組み

新入社員が1日でも早く、自分の技術を社会で役立てることができるよう、技術指導、メンタルサポートなど多面的に支えます。（メンター制度、OJT制度）
入社2年目からは、努力と成果がしっかりとフィードバックされる人事考課制度のもと、高いモチベーションをもって成長できるような評価制度を設けています。
（目標管理制度、職務階級制、資格手当、活躍社員への表彰）